



平成 30 年 8 月 3 日

各 位

会社名 株式会社 G S I クレオス
 代表者名 代表取締役社長 吉永 直明
 (コード番号 8101 東証第1部)
 問合せ先 常務取締役経営企画部長 荒木 靖司
 (TEL. 03 - 5211 - 1802)

中期経営計画策定のお知らせ

当社は、当社グループの前年度業績を踏まえ、2020 年度を最終年度とする「中期経営計画」を策定いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 中期経営計画における基本方針と重点施策

当社グループは、次のとおり基本方針と重点施策を掲げ、「ニッチな分野でグローバルに独自の機能を提供する事業創造型商社として社会に貢献する」ことを目指します。

【基本方針】

「進化と成長」をキーワードにして組織・人の強化を図り、当社グループの強みを総合力として活かし、新たな価値を創造し提供します。

世界で稼ぐ力の強化徹底

当社主導ビジネスモデルの深耕

重点事業・新規事業への経営資源投入

グループ連携の強化

【重点施策】

海外売上高の拡大

収益性の向上

人材の充実と働き方改革への対応

内部統制システムの充実とリスク管理の徹底

2. 数値目標

【連結】	2017 年度 実績 (2018 年 3 月期)	2020 年度 計画 (2021 年 3 月期)
売 上 高	1,337 億円	1,400 億円
経 常 利 益	15 億円	20 億円
純 利 益	9 億円	15 億円
R O E (純資産純利益率)	5.0%	8.0%
R O A (総資産純利益率)	1.4%	3.0%
自己資本比率	30.0%	30.0%超
配 当 性 向	24.7%	25.0%以上

詳細につきましては、添付資料をご参照ください。

以 上

GSI Creos



人とのふれあいを
もっと深く、もっと新しく。

中期経営計画

2018-2020

株式会社 GSIクレオス

2018年8月3日



私たちの企業理念

存在理念

私たちGSIクレオスの存在意義は、**新たな価値を発見し、社会的な価値へと結晶させる** ことにあります。

私たちは、次代の生活品質を追求する**ビジネス・プロデューサー**として、独自にして公益にかなう最高水準のサービスを創造し、GSIクレオスと価値を共創する**すべての当事者の幸せを実現** します。

経営理念

私たちは、個人の役割と成果責任を明確にして権限を委譲し、自律する強い組織をつくることで、市場に直結した判断と迅速な決定を可能にし、環境の変化にダイナミックに適応する経営を実行します。

会社組織のために

G S Iクレオスにとって、会社組織は、個の感性と叡智を結集し、最大限に高め合う器であります。

地球環境のために

G S Iクレオスにとって、地球環境の保全は、生活の場に対する信実であります。

私たちは、私たちの推進する事業活動の一環として環境保全に取り組むことで、より多くの人や組織とともに地球環境保全活動へ参加する経営を実行します。

市場とともに

G S Iクレオスにとって、市場とは、価値観を共有する生活者であります。

私たちは、私たちの確信する価値観にもとづいて、世界中から最高のリソースを見出し、挑戦的にビジネスを展開し、生活者の期待を創り、期待に応える経営を実行します。

社員とともに

G S Iクレオスにとって、人的資本こそが企業価値を創造する源泉であります。

私たちは、G S Iクレオスを共に創るプロフェッショナル人材の開発に投資をおし、社員一人ひとりが、発揮した能力と意欲に応じて喜びと誇りを享受しながら、企業価値の創造に参画できる経営を実行します。

株主とともに

G S Iクレオスにとって、株主は永続的な成長と発展の柱石であります。

私たちは、安定的に企業価値を高め続けることが、株主への最大の貢献であると考え、企業価値の増大に資する事業活動に専心し、株主に対するオープンかつインタラクティブな経営を実行します。

取引先とともに

G S Iクレオスにとって、取引先は共に成長するパートナーであります。

私たちは、最良のパートナーを求めるとともに、自らも選ばれるための要件を満たし続けて、市場合理性にもとづく対等な関係を保つことで、常に学習し高め合う創造的な経営を実行します。

ビジネスプロデューサーとして、
新たな価値の発見と社会的
価値への結晶化
すべての当事者の幸せを実現

GSI Creos



人とのふれあいを
もっと深く、もっと新しく。



2020年にめざす姿

(2021年3月期)

ビジョン

ニッチな分野でグローバルに独自の機能を提供する事業創造型商社として社会に貢献する

ニッチな分野とは、市場規模の大小を問わず、広範囲な対象事業領域の中で、メーカーが直接攻めにくく、他商社の追随を許さない、当社が得意としている商材や事業分野をいう。

売上高
1,400億円

純利益
15億円

ROE
8%

ROA
3%

自己資本比率
30%超

配当性向
25%以上

ROA: 総資産純利益率

ROE: 純資産純利益率



2017年度実績

2020年度計画

売上高

1,337億円

1,400億円

経常利益

15億円

20億円

純利益

9億円

15億円

ROE

5.0%

8.0%

ROA

1.4%

3.0%

自己資本比率

30.0%

30.0%超

配当性向

24.7%

25.0%以上

ROE: 純資産純利益率

ROA: 総資産純利益率



基本方針

「**進化と成長**」をキーワードにして組織・人の強化を図り、
当社グループの強みを総合力として活かし、新たな価値を創造し提供する。

世界で稼ぐ力
の強化徹底

当社主導
ビジネスモデル
の深耕

重点事業・
新規事業への
経営資源投入

グループ連携
の強化



重点施策

加速度的なグローバル展開

高付加価値を生み出す
ビジネスモデルの構築

経営基盤(人と組織)の強化

1 . 海外売上高の拡大

2 . 収益性の向上

3 . 人材の充実と
働き方改革への対応

4 . 内部統制システムの充実と
リスク管理の徹底



重点施策

1 . 海外売上高の拡大

海外現地法人の経営・営業力強化 現地社員の計画的育成
海外拠点連携による事業戦略実行

2 . 収益性の向上

戦略パートナーとの関係強化 バリューチェーンによる付加価値向上
新規事業の創出 業務効率化の推進

3 . 人材の充実と働き方改革への対応

グローバル人材、プロフェッショナル人材の育成強化
社員の能力開発促進 女性管理職の登用

4 . 内部統制システムの充実とリスク管理の徹底

不採算事業への対処徹底 社員のコンプライアンスマインドの醸成
経営・事業におけるリスクマネジメントの即時対応力強化

事業
基盤
強化

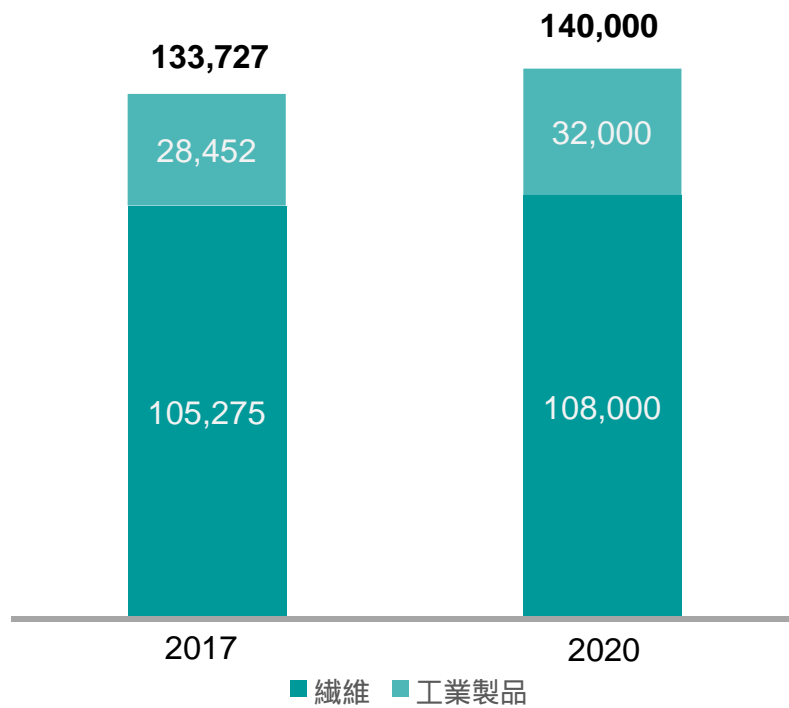
経営
基盤
強化



事業セグメント・定量目標（連結）

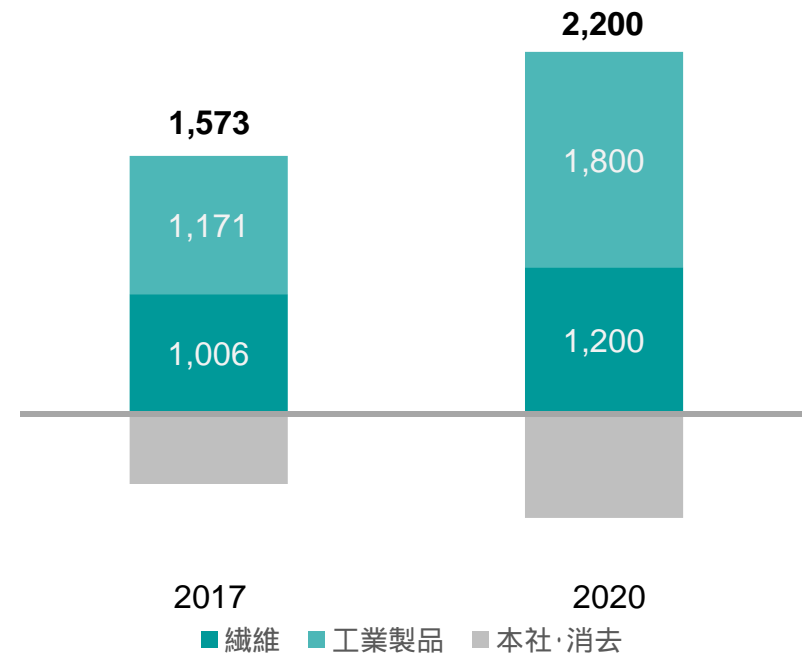
売上高

（百万円）



営業利益

（百万円）



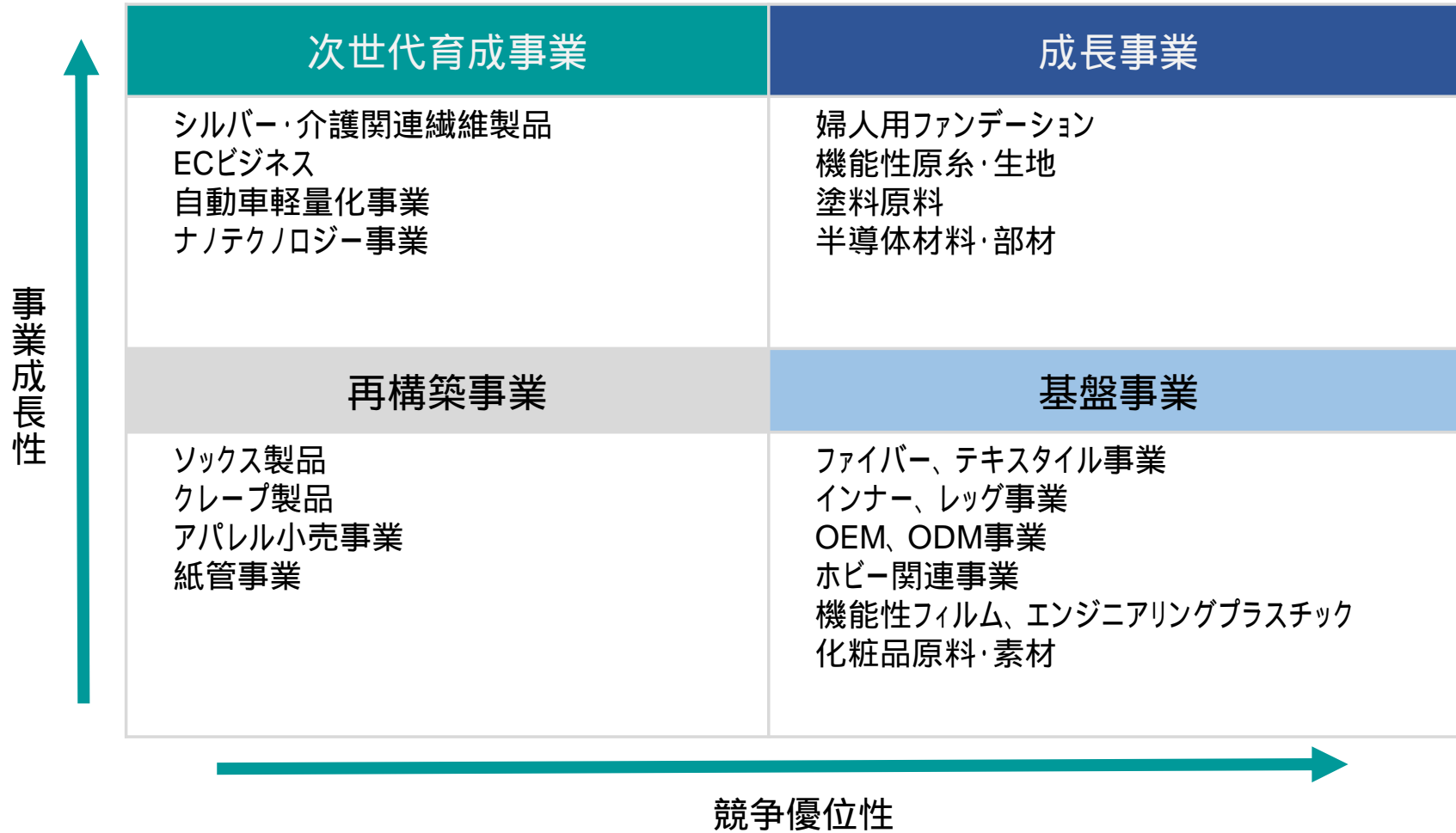


人とのふれあいを
もっと深く、もっと新しく。

事業ポートフォリオ

繊維事業

工業製品事業



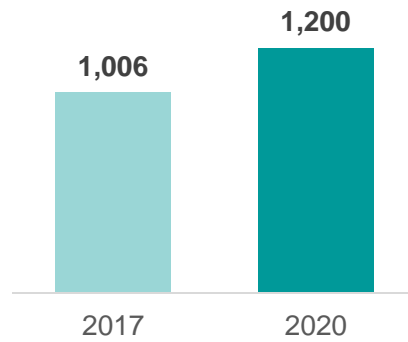


事業戦略 …… 繊維事業

売上高 (百万円)



営業利益 (百万円)



注力分野・事業

- ・独自性、機能性を有する原系、生地、製品
- ・素材力を活かしたOEM・ODM製品販売

戦略

- ・強みである原系・生地分野をコアにした、企画、開発、製造、販売までのバリューチェーンの徹底強化

施策

- ・当社海外拠点の連携により、高付加価値を創造する体制構築
- ・部門連携による営業機能の機動力強化

投資

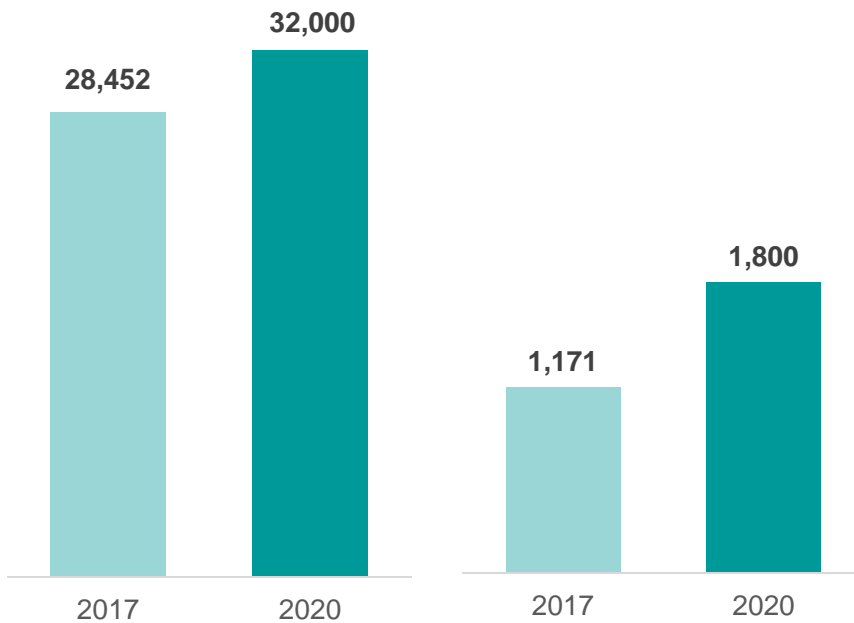
- ・競争力のあるバリューチェーン構築に向けた、素材開発およびECビジネスへの積極投資



事業戦略 …… 工業製品事業

売上高 (百万円)

営業利益 (百万円)



注力分野・事業

- ・化学 (塗料原料、模型用塗料)
- ・自動車 (複合材、製造設備、工業資材)
- ・電子 (半導体材料、半導体OEM向け部材)

戦略

- ・環境、エネルギー分野をコア事業分野と定め、海外ネットワークと高い専門性を活かした事業開発と展開
- ・商品、サービスの付加価値向上に向けたメーカー的機能の充実化
- ・R&D、技術拠点の拡充

施策

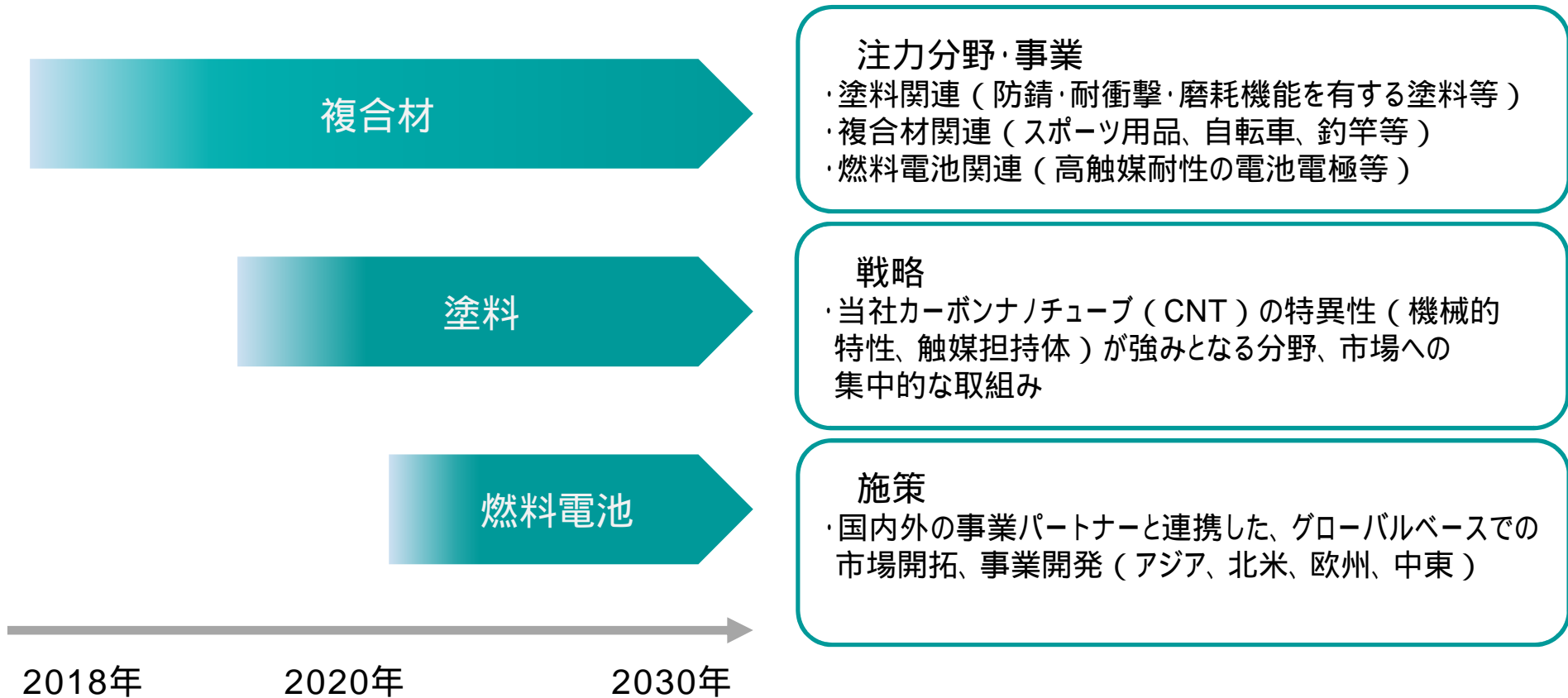
- ・事業を「化学品」、「機械・材料」、「ホビー・ライフ」の3分野に分け、情報・専門性の高度化と新たな事業機会創出の促進

投資

- ・コア事業分野における事業成長を加速的に行うためのM&A、事業提携の推進



事業戦略 …… ナノテクノロジー事業





事業戦略 …… 海外販売事業

各市場の特徴に合わせた、高付加価値商材の拡大

《地域と主要商材》	北・南米州	アジア	欧州
繊維原材料		●	
テキスタイル	●	●	
化学品	●	●	●
機械設備・装置	●		●
ホビー関連	●	●	●



配当・資本政策

基本方針

株主還元は「配当」を基本とし、安定的かつ継続的に実施する。
配当性向は25%以上を基本水準とする。
「自社株取得」は市場環境や資本水準等を総合的に勘案し、機動的に実施する。

